

授業計画(シラバス)

科目名	コンピュータ概論		指導担当者名	安齋 貴美子	
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	78時間			週時間数	6時間
学習到達目標	・IT技術者として必要なIT技術の基本知識を身に付ける。 ・情報処理技術者試験(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験)合格の為の知識の習得。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	情報処理試験合格へのパスポート「コンピュータ概論」				
授業外学習の方法	問題集、プリントを家庭学習用として配布				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	イントロダクション	コンピュータとは		
	2	第1章 コンピュータの基礎知識	コンピュータとの種類と五大装置		
	3	第2章 コンピュータの数値表現	コンピュータ内部の情報表現、基数変換		
	4	第2章 コンピュータの数値表現	補数、数値表現		
	5	第3章 ハードウェア	プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置		
	6	第3章 ハードウェア	入出力インタフェース、入出力装置		
	7	第4章 システムの構成要素	システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技術		
	8	第5章 ソフトウェア	ソフトウェアの分類とOS		
	9	第6章 マルチメディア・情報メディア	マルチメディア		
	10	第7章 AI(人工知能)	AI(人工知能)、機械学習		
	11	第7章 AI(人工知能)	ディープラーニング		
	12	まとめ	問題演習		
	13	まとめ	問題演習		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)

科目名	Office実習 I		指導担当者名	安齋 貴美子	
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	39時間			週時間数	3時間
学習到達目標	・表計算ソフト「Excel」の基本的な利用法を学ぶ。 ・MOS Excel365合格の為の知識の習得。				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・章末テスト ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	FOM出版 よくわかるマスターMOS Excel365対策テキスト&問題集				
授業外学習の方法	付属の模擬試験プログラムを使用して模擬試験を行う				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	MOS Excel365&2019について概要説明	実施内容・実施方法・試験出題範囲等の説明		
	2	ワークシートやブックの管理	ブック内の移動、書式設定、カスタマイズ		
	3	ワークシートやブックの管理	共同作業のためのコンテンツ設定、インポートの仕方、確認問題		
	4	セルやセル範囲のデータの管理	シートのデータ操作、書式設定		
	5	セルやセル範囲のデータの管理	名前付き範囲の定義と参照、データの視覚的まとめ方、確認問題		
	6	テーブルとテーブルのデータの管理	テーブルの作成と書式設定、テーブルの変更		
	7	テーブルとテーブルのデータの管理	テーブルデータのフィルタと並べ替え、確認問題		
	8	数式や関数を使用した演算の実行	参照の追加、データの計算と加工		
	9	数式や関数を使用した演算の実行	文字列の変更と書式設定、確認問題		
	10	グラフの管理	グラフの作成と変更		
	11	グラフの管理	グラフの書式設定、確認問題		
	12	模擬試験	模擬試験プログラムの使い方の説明、第1回と第2回模擬試験の実施と解説		
	13	模擬試験	模擬試験プログラムの使い方の説明、第3回と第4回模擬試験の実施と解説		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)

科目名	IT戦略とシステム開発		指導担当者名	橋本 友子	
実務経験	-			実務経験:	
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	78時間			週時間数	6時間
学習到達目標	・IT技術者として必要なIT技術の基本知識を身に付ける。 ・情報処理技術者試験(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験)合格のための知識の習得。 ・IT技術を解説するとともに、ソフトウェア開発の現場での応用例や注意事項を実例を交えながら指導する。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	情報処理試験合格へのパスポート「IT戦略とデータ利活用」「システム開発と情報技術」				
授業外学習の方法	問題集、プリントを家庭学習用として配布				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	第1章 企業と経営戦略	企業活動、経営戦略手法、マーケティング、ビジネス戦略、技術開発戦略		
	2	第2章 システム戦略	企業におけるシステム戦略、情報システムの活用、システム企画		
	3	第3章 ビジネスインダストリ(IoT)	ビジネスインダストリ、組み込みシステム、AI利活用		
	4	第4章 マネジメント	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント		
	5	第4章 マネジメント	システム監査		
	6	第5章 業務分析・データ利活用	OR・IE、データ利活用		
	7	第6章 企業会計	企業会計		
	8	第6章 企業会計	財務諸表		
	9	第7章 法務と標準化	知的財産権、セキュリティ関連法規、労務法		
	10	第7章 法務と標準化	その他の法規、情報倫理、標準化		
	11	システム開発技術	システム開発とは、システムの開発プロセス、システム要件定義・設計		
	12	システム開発技術	ソフトウェア要件定義・設計・構築		
	13	まとめ	演習問題		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)

科目名	検定対策		指導担当者名	安齋 貴美子	
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	前期39時間			週時間数	3時間
学習到達目標	・サーティファイ「情報処理技術者能力認定試験」合格に向けた演習を行う。 ・過去問題により到達状況を把握し本試験合格を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	サーティファイ情報処理技術者能力認定試験問題集3級				
授業外学習 の方法	サーティファイ情報処理技術者能力認定試験問題集およびプリントで答練を指導。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	2	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	3	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	4	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	5	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	6	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	7	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	8	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	9	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	10	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	11	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	12	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	13	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	AUTO-CAD		指導担当者名	武田 博	
実務経験	商品設計・筐体設計に30年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	39時間			週時間数	3時間
学習到達目標	AUTO-CADの使い方を習得する				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	今すぐ使えるかんたん AutoCAD				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	AutoCADの基本	環境設定		
	2	AutoCADの基本的な操作と考え方を知ろう	図面を新規に作成する、プロパティで図形の情報を編集する		
	3	AutoCADの基本的な操作と考え方を知ろう	円、直線、長方形等の作図		
	4	図形を移動/コピーしよう	図形を選択/解除する、複数の図形をまとめて選択する、図形を伸ばす/円の半径を変更する		
	5	図形を移動/コピーしよう	図形の移動、複写、反転、回転		
	6	文字や寸法を作成して印刷してみよう	シンプルな文字を作成・編集する、書式を持った文字を作成・編集する		
	7	文字や寸法を作成して印刷してみよう	寸法の外観を設定する、PDFで出力する[モデル印刷]、印刷時の線の色と太さを指定する		
	8	ベアリングの図面を作図しよう	製図の規格を知る、線種をロード(読み込み)する		
	9	ベアリングの図面を作図しよう	中心線に対称図示記号を作図する、断面外形線と中心線を作図する		
	10	L型側溝の図面を作図しよう	CAD製図基準について、基礎材/L型側溝を作図する		
	11	L型側溝の図面を作図しよう	寸法を記入する、L型側溝を仕上げる		
	12	間取り図を作図しよう	グリッドとスナップを設定する、壁芯を作図する、寸法を作成する		
	13	間取り図を作図しよう	階段を作図する、畳を作図する、玄関にタイルハッチングを施す		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)

科目名	3D-CAD I		指導担当者名	丹治 順一	
実務経験	電気機器メーカーの設計部門で30年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	150時間 (前期78時間、後期72時間)			週時間数	6時間
学習到達目標	Fusion360の使い方を学び、簡単な3Dモデルを作れるようになる				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	Fusion 360 マスターズガイド ベーシック編				
授業外学習 の方法	動画教材による復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	環境設定	Fusion360のインストール		
	2	基本操作	Fusion360の基本的な使い方を学ぶ		
	3	簡単なモデリング	線を描いて立体にしていく簡単なモデリング方法を学ぶ		
	4	簡単なモデリング	線を描いて立体にしていく簡単なモデリング方法を学ぶ		
	5	簡単なモデリング	線を描いて立体にしていく簡単なモデリング方法を学ぶ		
	6	キャラクターの3Dモデリング	ネコのキャラクターを例にして、3Dプリントをすることを想定したモデリングを学ぶ		
	7	キャラクターの3Dモデリング	ネコのキャラクターを例にして、3Dプリントをすることを想定したモデリングを学ぶ		
	8	キャラクターの3Dモデリング	ネコのキャラクターを例にして、3Dプリントをすることを想定したモデリングを学ぶ		
	9	レンダリングをして画像の書き出す	モデリングしたキャラクターに背景や小物などを追加し、画像の書き出し方法を学ぶ		
	10	レンダリングをして画像の書き出す	モデリングしたキャラクターに背景や小物などを追加し、画像の書き出し方法を学ぶ		
	11	レンダリングをして画像の書き出す	モデリングしたキャラクターに背景や小物などを追加し、画像の書き出し方法を学ぶ		
	12	レンダリングをして画像の書き出す	モデリングしたキャラクターに背景や小物などを追加し、画像の書き出し方法を学ぶ		
	13	レンダリングをして画像の書き出す	モデリングしたキャラクターに背景や小物などを追加し、画像の書き出し方法を学ぶ		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	3D-CAD I		指導担当者名	丹治 順一	
実務経験	電気機器メーカーの設計部門で30年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	150時間 (前期78時間、後期72時間)			週時間数	6時間
学習到達目標	Fusion360の使い方を学び、簡単な3Dモデルを作れるようになる				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	Fusion 360 マスターズガイド ベーシック編				
授業外学習 の方法	動画教材による復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	2	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	3	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	4	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	5	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	6	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	7	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	8	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	9	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	10	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	11	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	12	総まとめ	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ネットワークセキュリティ		指導担当者名	本田 昌秀	
実務経験	システム開発会社にてITコンサル、システム開発、ホームページ制作等の業務に9年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	39時間			週時間数	3時間
学習到達目標	・IT技術者として必要なネットワークとセキュリティの基本知識を身に付ける。 ・情報処理技術者試験(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験)合格の為の知識の習得。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	情報処理試験合格へのパスポート「システム開発と情報技術」				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	ネットワーク	ネットワーク方式		
	2	ネットワーク	OSI基本参照モデル		
	3	ネットワーク	TCP/IPプロトコル		
	4	ネットワーク	IPアドレス		
	5	ネットワーク	ネットワーク管理		
	6	ネットワーク	TCP/IPアプリケーション		
	7	セキュリティ	情報セキュリティ		
	8	セキュリティ	システムへの攻撃手法		
	9	セキュリティ	暗号化技術		
	10	セキュリティ	認証技術		
	11	セキュリティ	セキュリティ技術		
	12	セキュリティ	セキュリティリスク		
	13	セキュリティ	セキュリティ管理		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務 I		指導担当者名	橋本 友子	
実務経験	-			実務経験:	
開講時期	後期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	72時間			週時間数	6時間
学習到達目標	・就職活動の基本的な流れを理解する。 ・就職活動に必要な知識を身に付ける。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	これだけは知っておきたい! 面接対策&ビジネスマナー				
授業外学習の方法	提出物の作成(自己分析シート、自己PR、志望業種・職種の洗い出し、志望動機作成、エントリーシート、履歴書)				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	就職活動の準備とスタート	就職活動の心構え、就職活動の流れ		
	2	自分と職業を理解する	自分自身を知る、職業を知る、志望動機		
	3	自分と職業を理解する	個別作業 自己分析シート、自己PR、志望業種・職種の洗い出し、志望動機作成		
	4	情報収集・企業研究	情報収集のポイント、企業研究の方法		
	5	情報収集・企業研究	個別作業 受験希望企業の検索		
	6	企業訪問	作成書類(エントリーシート、履歴書)、企業訪問のしかた		
	7	企業訪問	個別作業 エントリーシート、履歴書		
	8	就職試験	就職試験のマナー、面接試験対策、筆記試験対策、受験後の報告		
	9	就職試験	面接試験練習		
	10	就職試験	面接試験練習		
	11	就職試験	筆記試験練習		
	12	就職試験	筆記試験練習		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)

科目名	Office実習Ⅱ		指導担当者名	安齋 貴美子	
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○		実技:
時間数	36時間			週時間数	3時間
学習到達目標	・表計算ソフト「Word」の基本的な利用法を学ぶ。 ・MOS Word365合格の為の知識の習得。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	FOM出版 よくわかるマスターMOS Word365対策テキスト&問題集				
授業外学習の方法	付属の模擬試験プログラムを使用して模擬試験を行う				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	Wordの概要	Wordの起動と終了方法 新しい文書の作成と保存方法、テキストの入力と編集方法		
	2	新しい文書の作成と保存	文字の色や強調表示の変更方法 テキストの装飾方法		
	3	テキストの入力と編集	文字の色や強調表示の変更方法 テキストの装飾方法		
	4	フォントとフォントサイズの変更	文字の色や強調表示の変更方法 テキストの装飾方法		
	5	段落の書式設定	段落の配置方法 段落のスタイルの変更方法		
	6	リストの作成	リストのレベルを変更する方法 リストのスタイルを変更する方法		
	7	テーブルの作成と編集	テーブルの行と列を追加または削除する方法 テーブルのセルを結合および分割する方法、テーブルのスタイルを変更する方法		
	8	画像の挿入と編集	画像を挿入してサイズ変更、トリミング、回転などを行います。 画像に効果を追加する方法、画像のリンクを設定・変更する方法		
	9	ハイパーリンクの作成	ハイパーリンクのリンク先を変更する方法 ハイパーリンクのスタイルを変更する方法		
	10	脚注と文末脚注の挿入	脚注と文末脚注のスタイルを変更する方法		
	11	目次と索引の作成	目次と索引のスタイルを変更する方法		
	12	文書の保護、印刷、管理	文書の保護レベルを変更する方法、印刷の設定を変更する方法、文書のバージョンを管理する方法 文書を他のユーザーと共有する方法		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	プレゼンテーション技法		指導担当者名	相楽 実紀	
実務経験	企業内システムエンジニア・ソフトウェア開発業務に5年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	36時間			週時間数	3時間
学習到達目標	サーティファイ主催コミュニケーション検定初級合格レベルの知識を習得する コミュニケーションの基礎を学ぶ プレゼンテーションの基礎を学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	コミュニケーション検定 初級 公式ガイドブック&問題集				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	コミュニケーションの基本	コミュニケーションと話し上手について、あいさつについて		
	2	きれいな発声・発音	自分の話し方、きれいな発声・発音について		
	3	正しい日本語	現在の日本語について、正しい言葉遣い		
	4	話すときの心構え	聞き手を意識した心構え		
	5	話すときの心構え	話題の広げ方		
	6	効果的な話し方	効果的に話す方法		
	7	効果的な話し方	効果的な話し方の構成		
	8	効果的な表現力	態度による話の効果		
	9	効果的な表現力	アイコンタクトとジェスチャー		
	10	総まとめ	今まで確認した内容の復習を行う		
	11	問題演習	模擬問題		
	12	問題演習	模擬問題		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	Web制作基礎		指導担当者名	本田 昌秀	
実務経験	システム開発会社にてITコンサル、システム開発、ホームページ制作等の業務に9年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	72時間			週時間数	6時間
学習到達目標	HTMLの基礎を学びWebページを作成する CSSの基礎を学びWebページのデザインを作成する サーバ接続の方法について学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	HTML5 & CSS3ワークブック – ステップ30(情報演習35)				
授業外学習の方法	教材の問題を使い、家庭で学習を行う。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	HTMLタグの基本 見出しと段落、文字の装飾	HTMLの基本構造 基本とテキスト要素		
	2	画像の掲載 リンクの作成	画像を利用するための準備 リンクの説明、実装を行う		
	3	CSSの基本 文字書式のCSS	CSSの役割について説明、実装を行う 基本、書式		
	4	CSSにおける色指定 背景のCSS	CSSの役割について説明、実装を行う 背景		
	5	サイズと枠線のCSS 余白のCSS	CSSの役割について説明、実装を行う サイズと枠線		
	6	角丸、影、半透明のCSS divタグとspanタグ	CSSの役割について説明、実装を行う divタグ、spanタグ		
	7	回り込みのCSS リンクのCSS	CSSの役割について説明、実装を行う リンク		
	8	CSSのまとめ 表の作成	CSSの役割について説明、実装を行う 表		
	9	グループ化とセルの結合 リストの作成と活用	セルの結合方法を説明、実装する リストの使い方		
	10	表を活用したレイアウト リストの作成と活用	表のレイアウトについて リストの使い方		
	11	ページレイアウトの作成 CSSファイルの活用	背景色とテキスト CSSファイルの活用方法を学ぶ		
	12	総まとめ	課題の実施		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)

科目名	ExcelVBA I		指導担当者名	安齋 貴美子	
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	72時間			週時間数	6時間
学習到達目標	・ExcelVBAのプログラミング手法を習得する				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	例題30+演習問題70でしっかり学ぶ ExcelVBA標準テキスト				
授業外学習の方法	教材の問題を使い、家庭で学習を行う。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	マクロとVBAの活用	マクロとVBAの説明と、簡単な使い方の説明		
	2	変数とデータ型の練習問題	変数の宣言、データ型、変数の代入		
	3	変数とデータ型の練習問題	変数の宣言、データ型、変数の代入		
	4	条件処理の練習問題	if ステートメント、Select Case ステートメント		
	5	ループ処理の練習問題	For ループ、While ループ		
	6	セルの操作	セルの基本操作		
	7	セルの操作	セルの基本操作		
	8	ユーザーフォーム	ユーザフォームの作成		
	9	ユーザーフォーム	ユーザーフォームからデータを入力		
	10	課題制作	VBAで業務効率化するプログラムの作成		
	11	課題制作	VBAで業務効率化するプログラムの作成		
	12	課題制作	VBAで業務効率化するプログラムの作成		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	情報処理技術者試験特別対策		指導担当者名	安齋 貴美子	
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	240時間 (1年:後期120時間、2年:後期120時間)			週時間数	30時間
学習到達目標	・情報処理技術者試験合格に向けた講義・演習問題を行う。 ・業者模試、過去問題により到達状況を把握し本試験合格を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	情報処理技術者試験の過去問題 業者模試 iTEC、TAC、インフォテック				
授業外学習 の方法	情報処理技術者試験過去問サイト「過去問道場」での答練を指導				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う		
	2	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う		
	3	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う		
	4	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	就職特別対策		指導担当者名	橋本 友子	
実務経験	-				実務経験:
開講時期	後期		対象学科学年	情報システム科 1年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	120時間 (1年次60時間、2年次60時間)			週時間数	30時間
学習到達目標	就職に必要な知識、マナーの習得 業界の動向理解				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	これだけは知っておきたい！面接対策 & ビジネスマナーテキスト				
授業外学習 の方法	テキストを使い復習、企業研究				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	企業研究、就職試験対策	説明会に参加しレポート提出、筆記試験、模擬面接試験		
	2	企業研究、就職試験対策	説明会に参加しレポート提出、筆記試験、模擬面接試験		
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)

科目名	Web制作応用		指導担当者名	本田 昌秀	
実務経験	システム開発会社にてITコンサル、システム開発、ホームページ制作等の業務に9年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	78時間			週時間数	6時間
学習到達目標	・WordPressの使い方を習得する。 ・WordPressでホームページを制作する。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材					
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	Chapter1	WordPressを始める準備をしよう		
	2	Chapter2	ホームページの土台を作ろう		
	3	Chapter3	固定ページと投稿で基本のホームページを作ろう		
	4	Chapter4	便利なブロックを使おう		
	5	Chapter5	レイアウトを整えるパターンを使おう		
	6	Chapter6	フルサイト編集でより見やすいホームページにしよう		
	7	Chapter7	Webサイトを運用・管理しよう		
	8	Chapter8	WordPress困ったときのFAQ		
	9	課題制作	オリジナルホームページ作成		
	10	課題制作	オリジナルホームページ作成		
	11	課題制作	オリジナルホームページ作成		
	12	課題制作	オリジナルホームページ作成		
	13	課題制作	オリジナルホームページ作成		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ExcelVBA II		指導担当者名	安齋 貴美子	
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	39時間			週時間数	3時間
学習到達目標	・ExcelVBAのプログラミング手法を習得する				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	例題30+演習問題70でしっかり学ぶ ExcelVBA標準テキスト				
授業外学習の方法	教材の問題を使い、家庭で学習を行う。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	VBAの活用	①ゲームの作成		
	2	VBAの活用	②ゲームの作成		
	3	VBAの活用	①帳票作成		
	4	VBAの活用	②帳票作成		
	5	VBAの活用	③帳票作成		
	6	総まとめ	章末問題		
	7	総まとめ	章末問題		
	8	課題制作	VBAで業務効率化するプログラムの作成		
	9	課題制作	VBAで業務効率化するプログラムの作成		
	10	課題制作	VBAで業務効率化するプログラムの作成		
	11	課題制作	VBAで業務効率化するプログラムの作成		
	12	課題制作	VBAで業務効率化するプログラムの作成		
	13	課題制作	VBAで業務効率化するプログラムの作成		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	3D-CAD II		指導担当者名	丹治 順一	
実務経験	電気機器メーカーの設計部門で30年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	150時間 (前期78時間、後期72時間)			週時間数	6時間
学習到達目標	Fusion360の使い方を学び、簡単な3Dモデルを作れるようになる				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	Fusion 360 マスターズガイド ベーシック編				
授業外学習 の方法	動画教材による復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	2	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	3	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	4	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	5	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	6	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	7	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	8	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	9	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	10	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	11	制作	3Dプリンタで出力		
	12	制作	3Dプリンタで出力		
	13	制作	3Dプリンタで出力		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	3D-CAD II		指導担当者名	丹治 順一	
実務経験	電気機器メーカーの設計部門で30年間従事			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	150時間 (前期78時間、後期72時間)			週時間数	6時間
学習到達目標	Fusion360の使い方を学び、簡単な3Dモデルを作れるようになる				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	Fusion 360 マスターズガイド ベーシック編				
授業外学習 の方法	動画教材による復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	2	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	3	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	4	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	5	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	6	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	7	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	8	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	9	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	10	制作	学習した内容を用いてオリジナルの3Dモデルを作る		
	11	制作	3Dプリンタで出力		
	12	制作	3Dプリンタで出力		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ		指導担当者名	橋本 友子	
実務経験	-			実務経験:	
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	78時間			週時間数	6時間
学習到達目標	・就職活動の基本的な流れを理解する。 ・就職活動に必要な知識を身に付ける。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	ウイネット「面接対策＆ビジネスマナー」				
授業外学習の方法	提出物の作成(自己分析シート、自己PR、志望業種・職種の洗い出し、志望動機作成、エントリーシート、履歴書)				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	2	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	3	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	4	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	5	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	6	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	7	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	8	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	9	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	10	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	11	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	12	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	13	就職試験準備	面接試験練習、SPI対策、履歴書作成		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	Photoshop		指導担当者名	高橋 侑子	
実務経験	フリーのグラフィックデザイナーとして10年以上のキャリア			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	39時間			週時間数	3時間
学習到達目標	・Photoshopの使い方を習得する ・画像編集の基礎や実践的なテクニックを習得する				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	Photoshop®クイックマスター				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	第1部 基本操作編	Chapter1 Photoshopの基本操作、Chapter2 選択範囲の作成		
	2	第1部 基本操作編	Chapter3 画像の移動と変形、Chapter4 カラーモードと色調補正		
	3	第1部 基本操作編	Chapter5 ペイント、Chapter6 レイヤー操作		
	4	第1部 基本操作編	Chapter7 パスとシェイプ、Chapter8 テキスト		
	5	第1部 基本操作編	Chapter9 フィルター、Chapter10 画像の入出力		
	6	第2部 コンテンツ制作編	Chapter1 フォトレタッチ、Chapter2 ロゴデザイン		
	7	第2部 コンテンツ制作編	Chapter3 カード&ステーションナリー、Chapter4 フォトコラージュ		
	8	第2部 コンテンツ制作編	Chapter5 Webサイトのデザイン		
	9	課題制作	作品の制作		
	10	課題制作	作品の制作		
	11	課題制作	作品の制作		
	12	課題制作	作品の制作		
	13	課題制作	作品の制作		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ビジネス実務		指導担当者名	橋本 友子	
実務経験	-				実務経験:
開講時期	通期		対象学科学年	情報システム科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	75時間 (前期39時間、後期36時間)			週時間数	3時間
学習到達目標	・社会人基礎力を身につける ・社会人基礎力検定に合格する				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	社会人基礎力検定協会テキスト				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	自己理解と自己管理	自己分析		
	2	自己理解と自己管理	ストレス管理		
	3	自己理解と自己管理	タイムマネジメント		
	4	コミュニケーションスキル	効果的な聞き方と話し方、フィードバックの受け方と伝え方		
	5	コミュニケーションスキル	効果的な聞き方と話し方、フィードバックの受け方と伝え方		
	6	コミュニケーションスキル	効果的な聞き方と話し方、フィードバックの受け方と伝え方		
	7	チームワーク	チームビルディング、役割分担、協働の重要性		
	8	チームワーク	チームビルディング、役割分担、協働の重要性		
	9	チームワーク	チームビルディング、役割分担、協働の重要性		
	10	問題解決能力	ロジカルシンキング、クリティカルシンキング、課題発見と解決策の立案		
	11	問題解決能力	ロジカルシンキング、クリティカルシンキング、課題発見と解決策の立案		
	12	問題解決能力	ロジカルシンキング、クリティカルシンキング、課題発見と解決策の立案		
	13	まとめ	レポート作成		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ビジネス実務		指導担当者名	橋本 友子	
実務経験	-			実務経験:	有
開講時期	通期		対象学科学年	情報システム科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	75時間 (前期39時間、後期36時間)			週時間数	3時間
学習到達目標	・社会人基礎力を身につける ・社会人基礎力検定に合格する				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	社会人基礎力検定協会テキスト				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	リーダーシップ	リーダーの役割、リーダーシップスタイル、リーダーとしての自己改善		
	2	リーダーシップ	リーダーの役割、リーダーシップスタイル、リーダーとしての自己改善		
	3	リーダーシップ	リーダーの役割、リーダーシップスタイル、リーダーとしての自己改善		
	4	プレゼンテーションスキル	効果的なプレゼンテーションの構成、視覚資料の作成、発表の練習		
	5	プレゼンテーションスキル	効果的なプレゼンテーションの構成、視覚資料の作成、発表の練習		
	6	プレゼンテーションスキル	効果的なプレゼンテーションの構成、視覚資料の作成、発表の練習		
	7	キャリアデザイン	キャリアパスの設定、目標設定、自己ブランディング		
	8	キャリアデザイン	キャリアパスの設定、目標設定、自己ブランディング		
	9	キャリアデザイン	キャリアパスの設定、目標設定、自己ブランディング		
	10	試験対策	社会人基礎力検定テキスト問題演習		
	11	試験対策	社会人基礎力検定テキスト問題演習		
	12	試験対策	社会人基礎力検定テキスト問題演習		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	Illustrator		指導担当者名	高橋 侑子	
実務経験	フリーのグラフィックデザイナーとして10年以上のキャリア			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	36時間			週時間数	3時間
学習到達目標	・Illustratorの使い方を習得する ・基礎や実践的なテクニックを習得する				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	Illustrator®クイックマスター				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	第1部 基本操作編	Illustratorの基本操作、Chapter2 オブジェクトの基本操作		
	2	第1部 基本操作編	Chapter3 カラー設定の基本操作、Chapter4 オブジェクト編集の基本操作		
	3	第1部 基本操作編	Chapter5 文字編集の基本操作、Chapter6 パスの基本操作		
	4	第2部 応用操作編	Chapter1 オブジェクトの応用操作、Chapter2 カラー設定の応用操作		
	5	第2部 応用操作編	Chapter3 レイヤーの応用操作、Chapter4 文字編集の応用操作		
	6	第2部 応用操作編	Chapter5 パスの応用操作		
	7	第3部 コンテンツ制作編	Chapter1 イラストレーション、Chapter2 ロゴデザイン		
	8	第3部 コンテンツ制作編	Chapter3 Webデザイン、Chapter4 グラフを作成する		
	9	第3部 コンテンツ制作編	Chapter5 印刷原稿の作成		
	10	課題制作	作品の制作		
	11	課題制作	作品の制作		
	12	課題制作	作品の制作		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作		指導担当者名	橋本 友子	
実務経験	-			実務経験:	
開講時期	後期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習: ○	実技:	
時間数	180時間			週時間数	15時間
学習到達目標	学科の学習内容に関する新技術など、授業で習わない事柄についてテーマを定めその研究を行いレポートにまとめる				
評価方法 評価基準	制作した内容についてレポートを提出する 制作であるため成果物の出来不出来よりも途中経過を重視する テーマの難易度を教員が見定め、それに応じた評価を行う テーマの選定については教員がフォローし、そのテーマの中で難易度を調整する				
使用教材					
授業外学習の方法	インターネットや市販の書籍を活用し、必要に応じて教員の指導を仰ぐ				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	卒業研究の企画・テーマ決め1	研究テーマを決め、企画書を作成する		
	2	卒業研究の企画・テーマ決め2	研究テーマを決め、企画書を作成する		
	3	卒業研究の企画・テーマ決め3	研究テーマを決め、企画書を作成する		
	4	中間発表	設計図・試作品などを発表する		
	5	制作	CAD、3Dプリンタ等で作品を制作する		
	6	制作	CAD、3Dプリンタ等で作品を制作する		
	7	制作	CAD、3Dプリンタ等で作品を制作する		
	8	制作	CAD、3Dプリンタ等で作品を制作する		
	9	制作	CAD、3Dプリンタ等で作品を制作する		
	10	プレゼン資料の作成	プレゼン資料の作成を行う		
	11	プレゼン資料の作成	プレゼン資料の作成を行う		
	12	プレゼン練習	プレゼンの練習を行う		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	情報処理技術者試験特別対策		指導担当者名	安齋 貴美子	
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	240時間 (1年次120時間、2年次120時間)			週時間数	30時間
学習到達目標	・情報処理技術者試験合格に向けた講義・演習問題を行う。 ・業者模試、過去問題により到達状況を把握し本試験合格を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	情報処理技術者試験の過去問題 業者模試 iTEC、TAC、インフォテック				
授業外学習の方法	情報処理技術者試験過去問サイト「過去問道場」での答練を指導				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期・後期	1	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う		
	2	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う		
	3	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う		
	4	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画(シラバス)

科目名	就職特別対策		指導担当者名	橋本 友子	
実務経験	-				実務経験:
開講時期	前期		対象学科学年	情報システム科 2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	120時間 (1年次60時間、2年次60時間)			週時間数	30時間
学習到達目標	就職に必要な知識、マナーの習得 業界の動向理解				
評価方法 評価基準	・出席、提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	これだけは知っておきたい！面接対策 & ビジネスマナーテキスト				
授業外学習 の方法	テキストを使い復習、企業研究				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	企業研究、就職試験対策	説明会に参加しレポート提出、筆記試験、模擬面接試験		
	2	企業研究、就職試験対策	説明会に参加しレポート提出、筆記試験、模擬面接試験		
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない